

「小麦1トンドリ」目次

1 見てわかる 小麦1トンドリ－革新技術のカンドコロ

★大きな穂とそれを支える太い茎づくりへの転換

【写真でみる】1トンドリの小麦づくり－写真で1トンドリ小麦の姿を紹介

- 播種量を減らし、太い分けつ茎・大きい穂・実りのよさで多収する
- 越冬前の状態がカギを握る－越冬前に葉齢5.0～5.5葉分けつに2枚の葉があれば、確実に穂になる
- 播種床の鎮圧が重要－播種深度によって、小麦の育ちがこれだけ違う

★1トンドリを支える収量構成要素をコントロールする

■ 穂数 ■ 1穂粒数 ■ 総粒数・粒重

★1トンドリ施肥の考え方

■ 1トンドリに窒素はどれくらい必要か？ ■ 窒素肥料の基本的な考え方 ■ 生育診断と窒素追肥

★忘れちゃいけない 超多収のための土づくりと補完技術

2 1トンとれる麦はここが違う－分けつから見えてきた超多収のすじ道

★あなたは麦の分けつを見たことがあるか

- 麦15万株 対 イネ2万株 ■ 分けつが注目されなかったわけ ■ 麦の分けつはイネと同じなのだ！
- 分けつ調査からわかった多収への道 ■ 恐るべし鞘葉分けつの能力 ■ めざせ1トン！安定多収の5つの近道

3 まきつけ八分作 薄まきの決め手は“播種床づくり”

★深まきは、百害あって一利なし 少量播種を活かす

■ まかぬ種は生えぬ！の迷信 ■ 深まきの弊害 ①出芽率の低下 ②越冬前の生育不足 ③二段根の発生

★フカフカ播種床をやめ、播種床鎮圧して種をまく 播種深一定の効果あり

■ 改善例 ①パワーハローによる砕土・整地 ②播種前の播種床鎮圧

★播種機のキャリブレーション 「まきつけ八分作」実現のテクニック

■ なぜ、播種量の制御ができなかったか？ ■ 播種量調整の手順 ■ 播種深度の調整

4 小麦1トンドリ多収農家事例

- 緑肥を活かし、ムラなく、キッチリとつくる-----芽室町 吉本博之さん
- 麦なで励行、こまめな追肥で超多収-----池田町 武智唯浩さん
- 品質よければ量はついてくる-----清里町 堀川哲男さん
- 少量播種で確実に出芽させる-----小清水町 新村正敏さん
- 空知型輪作をベースにキャリブレーションを徹底-----岩見沢市 新田慎太郎さん

1トンドリは夢の話ではない！ 1トンドリのイメージ（本書より抜粋）

① 種まき半作

- ・ 播種期：越冬前生育5.5葉となる時期
- ・ 播種量：140粒/㎡
- ・ 播種床：出芽率90%以上 均一な播種深度

② 分けつのコントロール

- ・ 適正施肥
- ・ 麦踏み、土入れ
- ・ 融雪後の鎮圧

③ 草丈のコントロール

- ・ 適正施肥
- ・ 麦なで
- ・ 倒伏軽減剤の活用



穂数
650～700本/㎡



1穂粒数
36～38粒/穂



総粒数
25,000粒/㎡



千粒重
40g

→ 1トンドリ

図1-3 小麦の1トン/10a 通りの栽培イメージ（品種：きたほなみ、北海道東部の場合）